

公益社団法人地盤工学会 平成 22 年度 第 2 回 理 事 会

議 事 録

日 時 : 平成 22 年 12 月 21 日 (火) 14 : 30 ~ 16 : 00		場 所 : 地盤工学会大会議室	
出席者 :			
日下部 治 会 長	風間 基樹 総務部長	木村 亮 理 事	安福 規之 理 事 ×
高橋 邦夫 副 会 長 (兼基準部長)	谷 和夫 企画部長	西江 俊作 理 事	谷 茂 監 事
	渡部 要一 国際部長	峯田 一彦 理 事	石川 彰 監 事
村上 章 副 会 長 (兼総務担当)	三村 衛 会誌部長 ×	須賀 幸一 理 事 ×	
	村田 芳信 事業部長	兵動 正幸 理 事 ×	
岸田 隆夫 副 会 長 (兼会員・支部部長)	大塚 悟 調査・研究部長 兼災害担当	李 圭太 理 事	
	奥野 哲夫 理 事 ×	中井 正一 理 事	

【事務局】戸塚事務局長, 浅野次長兼総務・経理課長, 鈴木一般事業課長, 下山刊行事業課長

注) : 出席、× : 欠席

* 定款第 34 条第 1 項に則り、理事出席者 14 名が定足数 (10 名、定員 19 名の過半数) を満足している事を確認し、理事会の成立が報告された。

* 理事会の議長は、定款第 33 条第 2 項に則り、日下部 治 会長があたり、議事録署名者は、定款第 35 条第 2 項に則り、日下部 治 会長、谷 茂 監事、石川 彰 監事とし、議事録作成者は木村 亮理事を選出した。

議 題 :

議 事 録 確 認

1. 理事会議事録 (案) (11/26)

[別紙 - 1] pp. 1-9

・p.1 の 会員・支部部 2. 本部支部懇談会議題の確認 2~3 行目 「桑野先生」「渦岡先生」「末岡元副会長」をそれぞれフルネームで訂正することで承認された。

審 議 事 項

会 員 ・ 支 部 部

1. 新規入会希望者 (平成 22 年 12 月 1 日入会)

[別紙 - 13] pp. 30-35 (当日配布)

・岸田隆夫副会長から新規入会希望者 (正会員 14 名、学生会員 5 名) 復会者 (7 名) の説明がなされ、満場一致で承認された。将来の学会を支える学生会員の増強に、学校の先生方は努力して欲しい、と日下部治会長から意見が出された。

2. 本部支部懇談会 (H22.11.26) 議事録 (案)

[別紙 - 2] pp. 10-11

・別紙の議事録案について、岸田隆夫副会長から、各支部との意見交換において、単年度の会員増強は退会時のダメージが大き、退会者の年齢構成の分析の必要性、学生会員は退会後に土木学会を選択しているのではないかと、卒業した留学生の動向の調査の必要性、公務員にとって有益な情報を提供する必要性、四国支部研究発表会では宿泊付きで深い人間関係を育んでいるなど、会員増強に関して有意義な意見が出来た、との報告があり、原案のとおり満場一致で承認された。

調 査 ・ 研 究 部

会 誌 部

事業部

基準部

企画部

国際部

総務部

1. 平成 22 年度(22.4.1~22.10.31)社団法人としての事業報告・決算

〔別添資料 - 1〕〔別添資料 - 2〕

〔別添資料 - 1〕(差替 pp. 1-6, 31(当日配布))

- ・会費の減少についての表現を「漸減が続いている」と修正、「部では…」という書出しを「事業の活動では…」という書出しに変えた、との前回案から変更点について説明があった。また、国際活動の「日中シンポジウム」を「第 4 回日中シンポジウム」、九州支部の「学会活動のあり方を検討する、中長期ビジョン検討委員会」を「学会支部活動のあり方を検討する、九州支部中長期ビジョン検討委員会」と支部の活動であることが分かる表現に変更した。その他気の付いた点がある場合は、本日中に事務局に連絡することにし、満場一致で承認された。

2. 平成 22 年度(22.11.1~23.3.31)公益社団法人としての事業計画案・予算案

〔別添資料 - 1〕〔別添資料 - 2〕

- ・公益事業区分ごとの計画案にしたことの説明があった。5. 共通事業〔共通〕の九州支部の表現については、九州支部の活動であることが分かる表現にすることにし、満場一致で承認された。

3. 平成 23 年度第二次予算案

〔別添資料 - 3〕

〔別添資料 - 5〕(当日配布)

- ・西江俊作経理担当理事より、昨年度同様収支予算書の「事業活動収支の部」で収支バランスする方向で検討した結果、現時点で 25,457 千円の支出超になっていることの説明があった。西江俊作理事から、総務部案としての収入増と支出減の修正案が提示され、各部に第三次案を 1 月 7 日までに総務部へ提出することを依頼した。

4. 平成 23 年度理事会体制の件

〔別紙 - 3〕 p. 12

- ・副会長選挙の一次投票結果から、東北支部と北陸支部からの理事がいなくなるため、両支部に理事の推薦依頼をすることが満場一致で承認された。

5. 公益社団法人関連の件(報告事項を含む)

1) 「従たる事務所」としての支部(関東・関西)登記における設置日の件

〔別紙 - 4〕 pp. 13-14

- ・平成 22 年 11 月 26 日付で登記することが満場一致で承認された。

2) 臨時総会式次第および進行スケジュール

〔別紙 - 5〕 pp. 15-18

- ・風間基樹総務部長から、臨時総会式次第の議事録署名者の代議員は、出席者が確定してから決めるとの説明があり、式次第およびスケジュールは満場一致で承認された。

3) 記念講演会の開催計画

〔別紙 - 6〕 p. 19

- ・臨時総会終了後、公益財団法人公益法人協会の太田達男理事長の記念講演を開催することの案内を行ったことの報告があった。対象者は、当学会関係者と他学会関係者(30 名まで)の合計 100 名程度とし、現在他学会関係者は 6 人の参加希望が来ている旨の報告があった。

6. その他

- ・2 月の運営連絡会議の開催日を 2 月 25 日を予定しているが、国立大学入試のため、2 月 24 日に変更することが満場一致で承

認められた。なお、審議事項があれば理事会に変更することにし、1月の理事会で決定することにした。

災害連絡会議

その他

予備審議事項

報告事項

会員・支部部

調査・研究部

会誌部

事業部

・以下の報告があった。

1. 平成 22 年度講習会収支報告報告 (10 月まで)

講習会名	会場	収入予算 (円)	会員	非会員	学生	後援	予定	参加者	率
	開催日		収入実績 (円)		支出実績 (円)		実績の収支差 (円)		
			A	B	C=A-B (見込み)				
第 1 回実務者のための土と基礎の設計計算演習	JGS 会館	968,000	21	8	0	0	36	29	81%
	10 月 4 ~ 5 日		818,000		436,158		381,842		
地盤の動的解析—基礎理論から応用まで—	JGS 会館	376,000	38	6	2	5	38	51	134%
	10 月 14 日		492,000		257,641		234,359		
海外工事と国際協力	JGS 会館	226,000	21	2	1	0	38	24	63%
	10 月 15 日		143,000		67,699		75,301		
第 2 回実務者のための土と基礎の設計計算演習	JGS 会館	968,000	11	6	0	0	36	17	47%
	10 月 18 ~ 19 日		490,000		467,844		22,156		
わかりやすい構造物基礎	JGS 会館	526,000	30	14	0	1	42	45	107%
	10 月 21 ~ 22 日		689,000		245,250		443,750		
軟弱地盤における地盤変形の実態と解析	JGS 会館	226,000	28	3	0	1	42	32	76%
	10 月 28 日		199,000		108,187		90,813		
H22 年度 10 月の合計見込み			収入実績 (見込み)				収支差の実績 (見込み)		
			8,163,000				3,553,081		

・第 1 回実務者のための土と基礎の設計計算演習講習会の収入予算は、968,000 円の間違いであるので、上表のとおり訂正した。

2. 平成 22 年度技術講習会企画案 (1 テーマ)

1) 「特殊土の基本的性質」講習会

〔別紙 - 7〕 p. 20

3. 平成 23 年度講習会計画案

〔別紙 - 8〕 p. 21

4. 2010 年度キャンペーンの継続について

- ・事業部から、各大学の先生、特別会員、過年度の理事にダイレクトメールを送付予定。各理事も周辺の会員の方にキャンペーンについてお知らせをお願いしたい、との報告があった。
5. 委員の追加および交代について
- ・出版企画委員会委員の追加：深田 久氏（(株) 不動テトラ）
 - ・都市の地盤編集委員会：津野 究氏（(財) 鉄道総合技術研究所） 仲山貴司氏（(財) 鉄道総合技術研究所）に交代

基準部

企画部

国際部

総務部

- ・以下の報告があった。

1. 平成 22 年度（22.4.1～22.10.31）監査報告（小川公認会計士よりの報告） [別紙 - 9] pp. 22-23
 - ・小川公認会計士から、本部一般会計の未収金、未払金の内容確認と早期の処理、仮受金の減少努力、前払金未処理分の早期処理について指摘があった。また、支部の棚卸資産の学会内部での統一的処理の実施の指摘については、該当するものがあれば計上することとし、本部が支部を指導することにした。
 - ・高橋邦夫副会長から、北海道支部総会に出席した際に支部の方から、監査が会計監査主体になっているが、公益法人としての業務がしっかりなされているか、の業務監査が必要ではないか、との意見が出された、という報告があった。業務監査の方法について、谷茂監事、石川彰監事に検討していただくことにした。
2. 監査に基づく理事者確認書の提出依頼 [別紙 - 10] pp. 24-26
 - ・平成 22 年度（22.4.1～22.10.31）財務諸表等の作成責任者は理事者であることの確認
3. 平成 23 年度支部事業計画案・収支予算案の提出依頼 [別紙 - 11] pp. 27-28
 - ・公益目的事業ごとに分けた事業計画案・収支予算案を平成 23 年 2 月 18 日までに提出依頼
4. 広報関連報告
 - 1) デジタルパンフレット(最終)の件 [別添資料 - 4]
 - ・原稿が完成し、デジタルパンフレットを作成中
 - ・「2. 技術者の資質向上」が、「地盤工学会会員の・・・」と狭い表現になっているが、公益法人は不特定多数のひとの利益の増進に寄与する、という趣旨に反してしまうので、臨時総会での配布後は公益社団法人として広く多数の人のために活動している表現にする。
 - ・同じく「研究発表会」では、一般向けの行事を行っていることも記述する。
5. 部員の公募 [別紙 - 12] p. 29
 - ・各部部員を学会誌にて公募（平成 23 年 3 月 31 日締切）
6. 新規職員の件
 - ・職安や大学に募集を掛けた結果、61 名の応募があった。書類選考で 15 名に絞り、本日二次試験と面接を行った。近日中に採用者を決定する、との報告があった。
7. その他
 - 1) 岩の力学連合会からの事務委託費の削減要望に対する回答結果
 - ・事務委託費用として、225 万円/年を回答
 - 2) 共催・後援・協賛等の依頼
 - 「小規模建築物基礎設計例集講習会」の後援 主催：日本建築学会 H23.2.25 ほか 6 回
 - 「第 2 回科学技術人材育成シンポジウム」の共催 主催：日本工学会、日本学会会議 H23.1.22
 - 「第 21 回環境工学総合シンポジウム 2011」の協賛 主催：日本機械学会 H23.6.29-7.1
 - 「砂防学会特別シンポジウム：深層崩壊を考える」の後援 主催：砂防学会 H23.1.18

3) HP、メールニュース等による会員への周知

「北海道大学大学院工学研究院環境循環システム部門 助教」の公募（公募締切日：23.2.18）

五十嵐敏文 氏（北大）よりの依頼

4) 玄関脇の補植工事の件

・夏枯れ等により、枯れ木の植替えを実施

5) 年末年始の取扱い

12月28日（火）12:00 終業（就業時間は通常勤務扱いで、急を要する業務がない場合は帰宅可）

1月 4日（火）10:00 始業（同上） 年始にあたり、日下部会長が来会し年始挨拶を予定。

災害連絡会議

その他

課題討議

共通検討課題：

1. 学会会議、他学会、産業界との連携（総務部）

[別紙 - 14] pp. 36-40 (当日配布)

- ・12月20日時点での、各理事から寄せられた意見の集約が、風間基樹総務部長から報告された。
- ・日下部治会長から、学会会議の動向が報告された。
- ・企画部で検討中のアクションプランにも反映させる。
- ・意見がある理事は、風間基樹総務部長に提出する。

議事の経過および結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長および議事録署名者が下記のとおり記名・押印する。

平成22年12月21日
公益社団法人 地盤工学会

議長および議事録署名者 会長 日下部 治

議事録署名者 監事 谷 茂

議事録署名者 監事 石川 彰

議事録作成者 理事 木村 亮

以上